

『新たな球技場』を三ツ沢公園内に建設する案について 市の回答に対する『第二陳情』を提出

反対・撤回を求める署名、累計 6,187 筆（10月8日時点）

～大切な緑を残したい、地域住民の声～

三ツ沢公園の自然と緑を守る会（三ツ沢公園周辺住民による市民活動団体）は、令和4年12月に横浜市が公表した『三ツ沢公園再整備基本構想（案）』に含まれる「新たな球技場の建設」に反対し、撤回を求める「市長陳情」を、令和5年12月11日、横浜市環境創造局公園緑地整備課へ提出しました。これに対し同年12月25日、『環創公整第2827号』にて、横浜市長山中竹春氏から回答がありましたが、不明瞭で納得できない返答でした。そのため、この回答への意見をまとめ、令和6年10月11日11時、みどり環境局戦略企画課へ第二陳情として提出します。

第二陳情書⇒



公園利用者の生の声⇒



私たちの主張

世界的に自然環境の保全が求められています。私たちは森林伐採、自然環境破壊を伴う「新たな球技場」の建設に反対し、未来の子どもたちに〈緑豊かな公園〉を残すことを横浜市に求めます。

第一陳情で求めた主な内容(概要)

- 1) 三ツ沢公園内に2つ目の球技場を建設する計画の撤回
- 2) 隣接する「横浜市立市民病院」への緊急車両の通行障害の対応案開示
- 3) 騒音問題の対応案開示（地域住民並びに馬術場の馬たちへの対応）
- 4) 地域住民を含めた三ツ沢公園の整備に関する協議会の設置依頼
- 5) 地域住民並びに既存施設利用者に対する説明会実施
- 6) ニッパツ三ツ沢球技場の老朽化対策費用の提示
- 7) 新たな球技場建設にかかる事業費、維持管理費の試算の提示
- 8) 複数の候補地の再検討依頼

(参考) 第一陳情⇒



横浜市長 山中竹春氏からの回答(環創公整第2827号)について

残念なことに、すべての要望について明確な回答はなく、地域住民の意向には馬耳東風、また建設地を三ツ沢公園内にする必然性も不明瞭で、代替地の検討の有無も、工費の裏付けもない状態で、建設ありきの回答となっていました。そのため各項目の回答に対して地域住民の意見をまとめ、第二陳情を作成しました。第一陳情後に寄せられた署名1,946筆に加え、公園を利用する小中学生や、小さなお子さんを持つお母さんたちから新たに集まった「生の声」を添え、提出します。

(参考) 横浜市長からの回答⇒



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

以下は、前回のプレスリリースに記載した内容です。

『新たな球技場』建設による影響

横浜市の構想（案）によると、三ツ沢公園の南西エリア内、緑豊かな桜山・自由広場領域に数万人規模の『新たな球技場』が建設されようとしています。これにより、花見の名所である桜山の桜をはじめ、数多くの樹木が伐採されます。「影響を受ける施設の代替機能の確保」（横浜市）とはいうものの、子どもたちに人気のカルガモがいる現在の池は埋められ、テニスコートの一部、自由広場の全域、野外活動センターなどの施設も姿を消すこととなります。



画像出典：(左)横浜市「三ツ沢公園再整備基本構想（案）」(右) Google マップ：オレンジ枠内が『新球技場整備検討エリア』

一つの公園に「2つ目」の数万人規模の球技場!?

■『新たな球技場』建設ありきの計画

横浜市（環境創造局公園緑地整備課）は、令和4年8月9日付「横浜市記者発表資料」で、「三ツ沢公園の再整備」の必要性として、同公園内にある、「三ツ沢公園球技場（ニッパツ三ツ沢球技場）」の①老朽化、②不十分なバリアフリー、③観客席に屋根がないこと、この三つを課題として提起しています。ところが、横浜市が委託した「三ツ沢公園再整備計画検討業務委託」（令和5年3月付。開示請求により入手）並びに「三ツ沢公園再整備計画検討業務委託（その2）」（令和5年6月付）には、その課題を解決するための修繕事業計画が見当たりません。元々の課題を放置したまま『新たな球技場』建設の検討を行っており、計画自体が不完全、不十分であると考えます。

■『新たな球技場』の建設費はどこから？

横浜市は、ニッパツ三ツ沢球技場を除く公園の改修費用については検討していますが、『新たな球技場』の建設費は公表していません。しかし、一方で市の担当者は、その建設費は約100億円（目安）になると話しています。建設費の明快な説明もないまま計画を進めていることは、横浜市民に対して十分な責任を果たしていないと考えます。

【参考】収容人数28,425人、ノエビアスタジアム神戸（開業2001年）の建設費は約230億円。

また、令和4年6月1日付「温暖化対策・環境創造・資源循環委員会」資料において、**主な検討課題の一番初めに「厳しい財政状況の中、効率的・効果的な球技場の整備や運営、市民サービスの充実に向けて公民連携の取組を最大限に推進」と記載**があります。横浜市の財源だけでは難しいことがわかっていながら計画を進めていることに危うさを感じます。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

三ツ沢公園の自然と緑を守る会 ● TEL:080-3933-0075（島崎） MAIL: mirai.3sawa.park@gmail.com

なぜ三ツ沢公園でなければならないのか

■横浜市に残る希少な緑地である三ツ沢公園

市街化が進むなかほとんどの緑地が消滅した横浜市東部エリアにおいて、三ツ沢公園に残る緑はとりわけ貴重です。その貴重な樹木を伐採し、そこに息づく生きものたちの営みを破壊してまで、三ツ沢公園を『新たな球技場』の建設地とする必然性はあるのか。起伏のある土地をならし、平地にするためにどれだけのコストがかかるのかも明らかにされていません。横浜市内には球技場の建設地として適した土地が他にあるものと考え、横浜市全体を俯瞰しての検討を求めています。

■交通渋滞、騒音対策は？ 横浜市民病院への影響は？

三ツ沢公園の周辺は第3京浜・横浜新道に連絡し、国道1号線にもつながる交通の要衝。『新たな球技場』ができることで生じるであろう交通渋滞問題、騒音問題等に対する環境対策はどのように検討されているのか、説明もありません。

三ツ沢公園に隣接している市民病院への影響も懸念されます。騒音問題だけでなく、救急車の通行に本当に支障がないのかという疑問も持っています。

問い合わせ先

三ツ沢公園の自然と緑を守る会

Mail : mirai.3sawa.park@gmail.com

代表者（共同代表）

井上明美 〒240-0061 横浜市保土ヶ谷区峰沢町 3 TEL:080-4733-7438

島崎文彦 〒221-0854 横浜市神奈川区三ツ沢南町 7-45 TEL:080-3933-0075

馬場英明 〒240-0067 横浜市保土ヶ谷区常盤台 86-1-1018



ホームページ

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

三ツ沢公園の自然と緑を守る会 ● TEL:080-3933-0075（島崎） MAIL : mirai.3sawa.park@gmail.com